

囲碁同好会



囲碁同好会は原則毎月第4木曜日11時から、神田須田町で定例囲碁会を開催しています。

常連参加者は澤木誠一(昭26電)、富田鉄人(昭32電)、大塚廉造(昭32化)、宮川良一(昭34機)、後藤重久(昭38電)、小野鐵雄(昭38土)、今井正洋(昭40機)、赤川均(昭41電)です。棋力レベルはおおよそ6級から7段ですがハンディがあるので皆さん真剣に対局しております。



令和2年1月23日(木)の例会が100回目の開催になったのを機会に囲碁同好会の歴史を会報KANASAから遡ってみました。

平成14年(2002年)の10号にこれまでのゴルフ同好会に加え、新たに尺八同好会、囲碁同好会、スキー同好会が新設され、齋藤右二郎(昭26機)氏の「囲碁同好会のお誘い」の記事が掲載されています。平成16年に同好会幹事が齋藤氏から小野鐵雄(昭38土)氏に引き継がれました。当時は東京八重洲の住友生命ビル地下の「いずみ囲碁サロン」での開催です。平成17年6月25日に「第1回東京秋工会囲碁大会」を開催し囲碁同好会10名のうち5名参加しました。平成22年は会員19名が常時参加しており昭和20年代卒2名、30年代卒15名、40年代卒2名となっています。

平成22年からそれまでの3ヶ月毎から偶数月の第3土曜日の開催となりました。平成25年から幹事が赤川に替わりました。平成27年の51回から開催場所が東京八重洲のいずみ囲碁ジャパンから現在の神田須田町になりました。平成28年3月24日の第54回から毎月の開催となりました。

最近のトピックスとしては茨城県の強豪今井正洋さんが参加され会の棋力レベルが上がったことです。

長く趣味として付き合える囲碁同好会への参加をお待ちしております。



囲碁同好会

代表 赤川 均(昭和41年電気科卒)

囲碁同好会への連絡は東京秋工会HPからメール、または事務局宛て電話にてお願いします。

ハイキング同好会



令和元年度の活動報告を致します。

◆4月21日は青梅市の御岳山(929m)から日の出町の日の出山(902m)の縦走です。起点となるJR御嶽駅前のバス停は訪れる人々で賑わっている。参加は5人です。ケーブルカーにて武蔵御嶽神社下に到着、長い階段を息を切らせながら神社に辿り着く、参拝小休止後日の出山に向う。縦走路を進んで日の出山頂手前に入る、残り10分はきつい階段です。山頂に到着、大勢のハイカーが昼食を楽しんでいる。この人たちが「つるつる温泉」に行くのかと思うと気があせり休憩もそこそこ下山開始、温泉到着、入浴後の生ビール欲しさに皆カラスの行水です。今回は暑さのせいもあって皆さん「疲れた」の声があった山行でした。



日の出山山頂

◆5月11日は奥多摩町の七ツ石山(1757m)です、奥多摩駅に集合、参加者は、4人です。西東京バスにて鴨沢に到着、民家が建ち並ぶ坂道を進むと七ツ石山・雲取山への登山口に着く、登山道は杉林のなだらかな登りがいつ果てるともなく延々と続き暑さでへばりぎみ、七ツ石小屋に着いた。小屋番のお節なお姉ちゃん(?)「オジサン達の足では山頂に登って此処まで帰って来るにはあと1時間かかるよ」との忠告を素直に受け入れてそこそこ下山開始、16:40鴨沢バス停到着も次のバスは18時まで来ないのでタクシーを呼んで奥多摩駅に急ぎ帰途についた山行でした。



七ツ石山小屋

◆6月9日は日本百名山の一座大菩薩嶺(2057m)に8人で挑みました。上日川峠に集合、バス停前の登山口よりコンクリート舗装を登り福ちゃん荘到着し最初の小休憩、幅広い緩やかな登山道を進み大菩薩峠(2000m)に到着、(中里介山による未完の長編時代小説で有名)ガスで眺望はない。集合写真撮影、賽の河原の避難小屋まで進み昼食休憩、大菩薩嶺登頂。コースタイムより速く着けた、ここは木々が生い茂り周りの景色も望めないせいか誰もいない、証拠写真撮影後下山開始、雷岩の分岐から唐松尾根を下るルートは急な岩場で滑りやすく転ばないように慎重に下り予定より早く上日川峠バス停に着いた。今回の山行はあいにくの雨で眺望もなく残念な山旅となった。



大菩薩峠